

授業名	生涯学習施設実習	学期	2021年度 春学期～秋学期
担当者	出川 真也		
テーマ	生涯学習施設における実習		
授業の目的	<p>地域づくりと成人教育をテーマに、青少年教育のほか、経産、農林水産、環境等の多様な分野との連携を視野に入れながら生涯学習施設への理解を深める。</p> <p>実習先としては、豊島区等の社会教育行政機関を想定しており、夏季期間を中心に1週間程度の実習を行うことを必須要件とする。</p> <p>社会教育活動におけるコーディネーターやファシリテーター、エドューケーターの役割について体験的に学ぶと共に、E.ハミルトンが提示する地域づくりと成人教育に関する基本命題を手がかりに、現代日本における社会教育の役割と使命について理解を深め、地域社会や行政、民間企業・事業体等における人材育成関連業務等で求められる実践的能力を身につける。</p>		
授業の到達目標・DPとの関連性	<p>①生涯学習関連施設の機能、役割、事業内容、多様な広がりについて述べるができる(DP①②)</p> <p>②各生涯学習関連施設の特徴に応じた事業の企画立案の視点・手順について考えを述べるができる(DP③④)</p> <p>③地域づくりと生涯学習活動におけるコーディネーターやファシリテーター、エドューケーターやオーガナイザー等の役割を踏まえながら現場の学習支援活動にかかわることができる(DP⑤⑥)</p>		
DP参照ページ	https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/		
授業形態	教員による基本解説とともに、演習形式で学生が報告し、グループ形式で学習成果を発表する。		
テキスト	鈴木真理他編著,2015,「社会教育の施設論－社会教育の空間的展開を考える－」学文社		
参考文献	<p>笹井宏益・中村香著,2013「生涯学習のイノベーション」玉川大学出版部</p> <p>出川真也,2011,「郷土学習モデルプログラム集」NPO法人里の自然文化共育研究所</p> <p>出川真也,2008,「エンジョイ・フィールドワーク」山形大学</p> <p>出川真也,2008,「森里川海学習のハンドブック」NPO法人里の自然文化共育研究所</p> <p>Edwin Hamilton,1992Adult Education for Community Development(Contributions to the Study of Education)</p>		
評価方法	<p>授業参加度(ディスカッションや実習への意欲的参加)(到達目標③)50%</p> <p>レポート(到達目標①②)50%</p>		
前提科目	生涯学習概論		
授業計画	<p>第1回</p> <p>○事前学修(2時間)</p> <p>生涯学習関連施設としてどんなものがあるか情報収集する。</p> <p>○授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス:授業の進め方、履修方法を説明。 ・地域づくりの視点からみる生涯学習関連施設の活動 <p>○事後学修(2時間)</p> <p>事前学習の情報に授業内容を加え整理する。関心のある事業分野の施設を実習先として検討し、情報収集を始める。必要に応じてオフィスアワーを利用して担当教員より指導を受けること。</p> <p>第2回</p> <p>○事前学修(2時間)</p> <p>豊島区地域文化創造館について調べる。</p> <p>○授業</p> <p>学習指導者と学習者、高齢者と青少年のコミュニティ作りについて検討する。</p> <p>○事後学修(2時間)</p> <p>事前学習情報に授業内容を加え整理する。</p> <p>第3回</p> <p>○事前学修(2時間)</p> <p>豊島区みらい館大明について調べる。</p> <p>○授業</p> <p>地域生涯学習活動における学びのデザイン、ブックカフェにおけるコーディネーターの機能と役割について検討する。(ゲスト講師招聘予定)</p> <p>○事後学習(2時間)</p>		

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第4回

○事前学修（2時間）

豊島区男女平等推進センターについて調べる。

○授業

男女平等推進センターの取り組みについて検討する。

○事後学修（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第5回

○事前学修（2時間）

公民館等における地域青年会活動や学校との連携活動について調べる。

○授業

地域青年会・高校生・都市部大学生の協働による学習と地域づくり事例について検討する。

○事後学修（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第6回

○事前学修（2時間）

学習と地域生業や人材育成の関係について調べる。

○授業

生涯学習施設を拠点とした地域資源を活用した生業づくりと学習・人材育成について検討する。

○事後学修（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第7回

○事前学修（2時間）

自然学校・青少年教育施設について調べる。

○授業

自然学校の事例を元に、施設・運営スタッフの機能と役割について検討する。

○事後学修（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第8回

○事前学修（2時間）

NPO活動と生涯学習施設について調べる

○授業

都市・地方が連携した生涯学習活動を事例にして、交流・学習活動について検討する。

○事後学修（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第9回

○事前学習（2時間）

生涯学習団体による地域ボランティア活動について調べる

○授業

豊島区エリアガイドボランティアとの交流学习を行う。（ゲスト講師招聘予定）

○事後学習（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第10回

○事前学修（2時間）

図書館・博物館等の社会教育施設を軸とした学習活動について調べる。

○授業

図書館と地域づくりの活動事例を下に、社会教育施設間ネットワーク形成について検討する。

○事後学修（2時間）

事前学習情報に授業内容を加え整理する。

第12回

○事前学修（2時間）

生涯学習施設と高齢者の学習について調べる。

○授業

高齢者による学習と地域づくりの事例を元に、高齢者の学習活動について検討する。

○事後学修（2時間）

授業で提起された内容を参考に、実習に必要な追加情報収集を行う。

【13回目】

- 事前学習（2時間）
実習予定施設の情報を収集する。
- 授業
計画づくりのポイントを解説する。
- 事後学習（2時間）
授業で得られた情報を追加して実習計画の策定を進める。

【14回目】

- 事前学修（2時間）
実習計画の発表準備を行う。
- 授業
実習計画の発表（公民館、生涯学習センター、図書館・博物館・資料館等分野）
- 事後学修（2時間）
実習計画に授業で示された指摘事項を盛り込み修正を加える。

【15回目】

- 事前学修（2時間）
実習計画を確定し、必要な準備を進める。疑問点、事前に確認が必要だと思われる事項について整理しておく。
- 授業
実習に向けた最終準備を行う。派遣先ごとに必要な配慮事項について確認し、アドバイスをを行う。
- 事後学修（2時間）
授業で得られた情報やアドバイスを踏まえて、実習に向けた最終準備を行う。

※実習先施設により異なりますが、主に15回目～16回目間の夏期休業中に実習を行うことを想定しています。

第16回

- 事前学修（2時間）
実習先で得られた情報・資料・メモ等を取りまとめておく。
- 授業
基本解説：実習成果報告の視点と方法について解説。
- 事後学修（2時間）
発表に向けた準備を行い、報告に必要な資料を追加収集する。

第17回

- 事前学修（2時間）
発表のためのpptファイルや配布資料等の作製準備を進める。
- 授業
実習成果発表1 社会教育施設
- 事後学修（2時間）
成果報告の基本的論点を整理しまとめておく。

第18回

- 事前学修（2時間）
発表のためのpptファイルや配布資料等の作製準備を進める。
- 授業
実習成果発表2 生涯学習施設
- 事後学修（2時間）
成果報告の基本的論点を整理しまとめておく。

第19回

- 事前学修（2時間）
発表のためのpptファイルや配布資料等の作製準備を進める。
- 授業
実習成果発表3 福祉・NPO関係施設
- 事後学修（2時間）
成果報告の基本的論点を整理し取りまとめておく。

第20回

- 事前学修（2時間）
発表のためのpptファイルや配布資料等の作製準備を進める。

○授業

実習成果発表4 各種生涯学習団体拠点施設

○事後学修（2時間）

成果報告の基本的論点を整理しまとめておく。

第21回

○事前学修（2時間）

発表のためのpptファイルや配布資料等の作製準備を進める。

○授業

実習成果発表5 そのほかの施設

○事後学修（2時間）

成果報告の基本的論点を整理しまとめておく。

第22回

○事前学修（1時間）

レポート構想（アウトライン）を作成する。

○授業

レポートの構想概要を発表する。

○事後学修（2時間）

成果報告の基本的論点を整理まとめておく。

第23回

○事前学修（2時間）

レポート前編（基礎情報）草稿を執筆する

○授業

実習施設基礎情報について検討する

○事後学修（2時間）

授業での指摘事項を踏まえてレポート修正を行う。

第24回

○事前学修（2時間）

レポート中編（実習内容）草稿を執筆する

○授業

実習施設における実習内容について振り返り検討する。

○事後学修（2時間）

授業での指摘事項を踏まえてレポート修正を行う。

第25回

○事前学修（2時間）

レポート後編（考察）草稿を執筆する。

○授業

実習を踏まえて生涯学習論的見地からの考察や提案について検討する。

○事後学修（2時間）

授業での指摘事項を踏まえてレポート修正を行う。

第26回

○事前学修（2時間）

発表時の指摘事項を加えて、レポート作成を進める。

○授業

プレゼンテーションを踏まえたディスカッションを行い、レポート作成に向けて必要な視点・論点の検討を行う。

○事後学修（2時間）

授業内容を踏まえてレポート作成を進める。

第27回

○事前学修（2時間）

レポート作成を進めるとともに、作成に当たった疑問点等を整理しておく。

○授業

レポート作成のための補論として、住民参加の地域づくり、地域社会のニーズと学習課題の設定について解説する。

○事後学修（2時間）

授業内容を踏まえてレポート作成を進める。

第28回

○事前学修（2時間）

	<p>レポートの完成稿とりまとめに当たっての疑問点等を整理しておく。</p> <p>○授業 レポート作成のための補論として、地域づくりのための組織作り、地域づくりの視点と方法について解説（「Adult Education for Community Development」E.ハミルトン10の命題など）する。</p> <p>○事後学修（2時間） 授業内容を踏まえてレポートを取りまとめ、提出する。</p>
<p>統括的な留意事項</p>	<p>演習やレポート作成が中心の授業です。また1週間程度の施設実習が必須の授業です。授業のほか事前・事後学習をしっかりと行って各自の課題意識を明確化するとともに、社会実践の場である実習に責任を持って取り組めるよう計画的に学習を進めてください。以下の事前研修・実践・プレゼンテーション活動等を行いますので、留意ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に向けて、都近郊の生涯学習施設において1泊2日程度の集中研修を予定しています（5～7月頃）。宿泊費等として4,000円程度の負担を予定しています。 2. 実習施設によって実習費用として4,000～7,000円程度の負担金が生じます。 3. 実習に関連して次の実地活動や報告・発表活動を行います。 <p>(1)コミュニティカフェの企画運営 (2)生涯学習施設大明まつりでのプレゼンテーション (3)鴨台祭でのプレゼンテーション (4)社会教育団体によるラウンドテーブルへの参加・発表</p>